

# 私たちの想い

私たちは本プロジェクトに際し、中野区の一員として、地域に根差した事業を行います。

そして私たちの考える社会的役割は、地域社会や地域住民の懸け橋となり、**街と共に発展**していくことです。

## 全体基本方針 ～3つの場～

- 1. 本来事業が情報交流スペースと親和性があり、安定した事業 ▶▶▶ **学びの場**
- 2. 学びを通して人々が集い多世代交流できる場 ▶▶▶ **地域交流の場**
- 3. 中野区を守る防災拠点としての活用 ▶▶▶ **防災拠点の場**

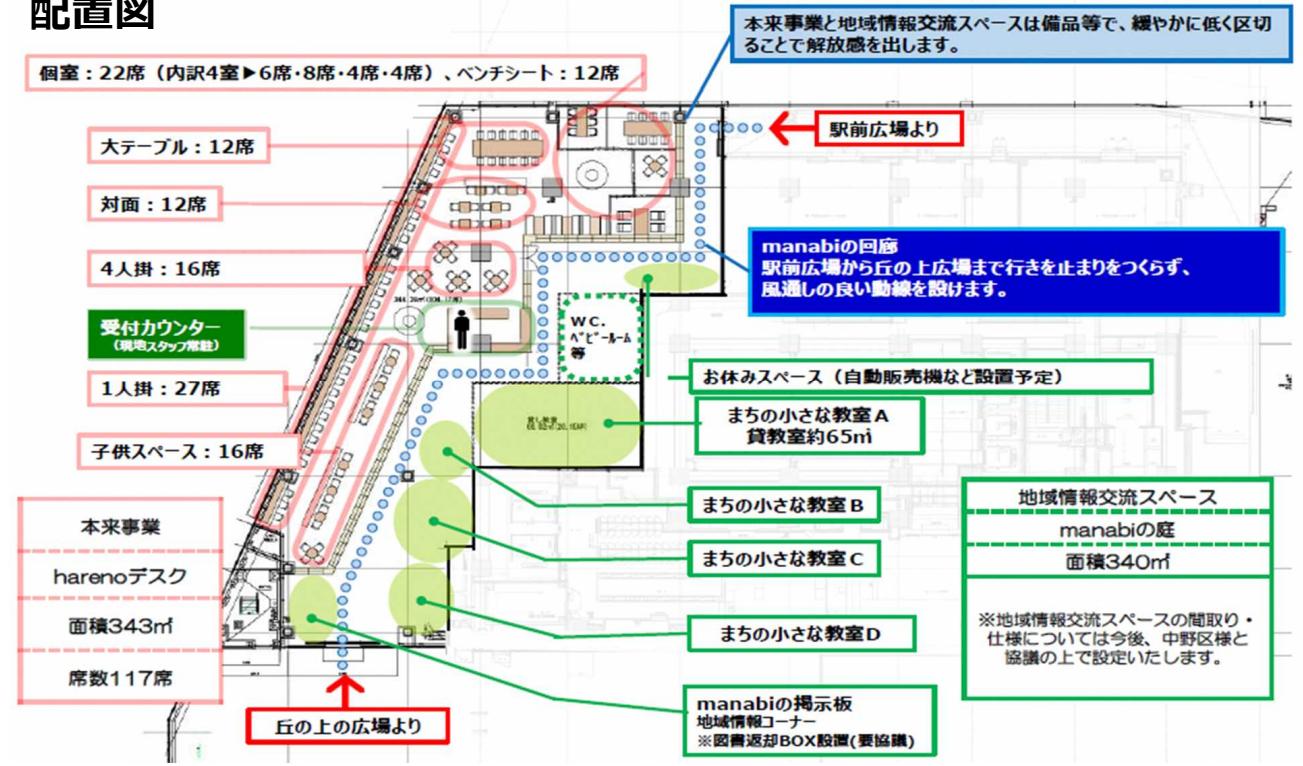
## 全体開発コンセプト

「**学び**」にスポットをあて、本来事業と地域情報交流スペースを運営。

本来事業は、学びの空間「**harenodesk**」を運営し、地域情報交流スペースとの相乗効果を創出します。利用方法は仕事、勉強、趣味読書等、ニーズに合わせての利用が可能です。

地域情報交流スペースは「**manabiの庭**」の名称で、学習教室や多種多様なイベントを開催し、世代を問わず、学びを通して自由に交流できる、「**まちの小さな教室**」の役割を担います。

## 配置図



本来事業

### 学びの場 harenodesk

勉強、仕事や趣味に。  
自宅、職場でない居心地のいい学びの空間を。

**harenodesk**とは「学習スペース」の居心地の良さと「オフィス」の利便性を持ち合わせた空間として仕事、勉強、趣味等、ニーズに合わせ利用できる多目的スペースです。一部、親子利用可能な子供スペースを設けるなど、harenodeskは個人利用のお客様が中心となり、幅広い年齢層の方がご利用できます。



地域情報交流スペース

### 地域交流の場 manabiの庭

学びを通して人が集い交流できる場所

**manabiの庭**とは、あらゆる世代の人、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の協力を得て、地域の学びをサポートしていくことを目標とします。多世代の地域住民や様々な団体が利用できるように、幅広く緩やかな地域ネットワークを構築します。



防災拠点

### 防災拠点の場 BCP対策

非常時は中野区を守る防災拠点として

日本は地震や台風といった災害リスクが高く、首都直下型地震の発生が近年懸念されています。また、新型コロナウイルス感染症は収束の兆しをみせていません。平時は本来事業と地域情報交流スペースとして活用し、災害時には、一時的に**中野区の防災施設**として活用することをご提案します。



※今後協議等により修正・変更となる場合がございます。